

あらぐさ



共立高等看護学院第33期生卒業式



第33期生のみなさん、ご家族の皆様、御卒業おめでとうございます。
さぞお喜びのことと存じます。

晴れがましい卒業式ではありますが卒業生と御家族の皆様には少し複雑で割り切れない思いをお持ちのこととお察しいたします。2月の大雪のため国家試験を受験できないという前代未聞の事態となり3月19日の追加試験を控えての卒業式となりました。事態をしつかり受け止め厳粛な思い出深い日となることを願っています。明日から気持ちをすっぱり切り替えて国家試験に向けて力を尽しましょう。

大雪の2月15日の国家試験前日、殆どの3年生が学校に集まり大きな不安いっぱいのまま学校で一夜を明かしました。自宅に帰つて休むことができた人もいましたがあえて皆で行動を共にしました。また、食料も不十分な中、ミニお握りを作つて皆で分け合いました。不安と焦りの中、団結し、取り乱すこともなく冷静な行動をとられたことを嬉しく思います。私たちの学校が大切にしてきたことを実践で垣間見せてくれたとも感じています。いろいろ問題も多く、まとまりにくかつた33期生ですがこの危機に際して、とても頼もしい姿を見せてくれました。この後もすべてを立派にやり遂げて、33期生伝説を作つ下さい。そして何年か後に、自分達は貴重な体験をしたと良い想い出になつたと語れることを願つています。

4月からは、また新たな道を歩み始めることになります。実社会へ出るともつと大きな試練や思いがけないことに出会います。特に一年目は苦労も多いのですが最も大きく成長できる大切な一年です。心して頑張りぬいて下さい。そして、辛いことや嬉しい報告をあの教務室に来て聞かせて下さい。私たち教職員はいつでも待っています。

最後に、共立高等看護学院卒業生としての誇りと自信を持って、まっすぐに一步一步進んでいたいことを祈念しておいわいのあいさつとします。おめでとう。

二〇一四年三月七日 学院長 上嶋准嗣

学院長あこやつ



33期生 28名の新たな出発

3月7日、共立高等看護学院第33期生の卒業式が、多くの1人来賓、1家族の出席で開催された中で挙行されました。卒業証書を授与された卒業生28名の記念撮影した表情から、3年間精一杯仲間と共に歩み頑張り抜いた様子が伺えました。

33期生は東日本大震災の年に入学しました。入學当初より、個別の力は持つてこても、クリスマスとしてまとまるのが苦手でした。人間関係で悩み立つかれていらっしゃる、クリスマスとして成長するのに3年ひとつの時間が必要でした。その中では、進路を変更した人、違う学年になつた人、それから同じ学年間での流れも経験しました。

3年間の中で、卒業式実施し私生誕の回数は

3回やあり、クリスマスとして成長するのに3年ひとつの時間が必要でした。その中では、進路を変更した人、違う学年になつた人、それから同じ学年間での流れも経験しました。

3年間の中で、卒業式実施し私生誕の回数は3回やあり、クリスマスとして成長するのに3年ひとつの時間が必要でした。その中では、進路を変更した人、違う学年になつた人、それから同じ学年間での流れも経験しました。

記録的な大雪で第13回国際試験を受験され、不安で眠れぬ夜をすこし中で「仲間に支えて貰う」いう経験もしました。強いていって憂しく、他者のことを思いやれる、一人一人を大切にできるクリスマスへと変わつていったと感じます。しかし上向まし合い成長し、一力困難を乗り越え33期生全員が合格できました。

新たな出発の卒業生がすすむ医療の現場で、命を向きます場であの厳しい現実が待ち受けています。しかし、このよみがけた時」はこの年間やうなじた自分自身の力や、いかに成長を重ねあつた仲間からくる

やつて、共立高等看護学院で学んだこと一つを思ひ出したい想ひであります。そして、多くの家族から「あなただけ出でてよかつた」と頬のこむれ、豊かで温かな看護師に成長できた」とを期待しています。そして、卒業後もいつまでも私たちを応援して下さる所を守らなければなりません。元気な姿を見せて下さる。「看護の花 咲かせよーー33期生ーー」

33期生担任 中込英利香



33期生代表 手塚友斗



33期生 答辞（抜粋）

在校生の皆さん、「これから実習や勉強で今までより厳しく毎日になります。不安になり、迷ひ出しましたが、そこであります。自分だけで抱えたまま、友達や隣の席の人、教務室の先生に話して下せば、きっとおだんねがして貰えます。・在校生の皆さんクリスマスが一つとなりてこられたためのアドバイスをします。一・話しかけてはしつかりと自分の意見を述べる二・ふつから自分で纏わないとしつかりと話しておきましょう。三・前に出てしまだ人が話している時はしつかり反対する。よく三つを守ればクリスマスのよいまつせよの回になります。クリスマスがでかいの学校生版、周りの仲間といつぱり、泽山遊び、思ひ出の残る時間を過ごして下せ。仲間や先生を囲ひて、看護師への道を歩んで下せ」と思いました。

2年生コース

進級にあたり

お疲れさま、34期生！

34期生は、10月からの田舎で4ヶ月の長期の臨地実習を終えました。内科や外科、小児、障害児保育園、生命の誕生に立ち会う母性衛、あるいは経験をしました。中にはペア実習で意見が異なつて仲間との関係性に苦惱する場面もあつましたが乗り越えてのことができ、グループメンバーで助け合つたばかり過りつたことです。これまで見ない仲間の一回を知る機会になりました。実習を終えた学生から、「改めて看護つていいな」と友達を助けられるよう自分になつた」という声が多く聞かれ、集団としても個としても実り多い実習となり、担任として嬉しく感じています。

実習後は、後期期末試験に挑み、更に、3年次の春に行われるケースレポート発表会を準備をし、最終年に備えました。昨年よりもさらに高いハードルがいくつもあつた2年次ですが、この一年を乗り越えられたのは学生の努力と共に、1つ家族の支えがあつたからだと思います。

4月からいよいよ3年生です。クラスの仲間との助け合い・支え合いを大事にしながら充実した3年次になりましたことを期待しています。看護学生として一回り大きく成長した34期生に、1年間関わらせていただいたことに感謝しています。

ありがとうございました。

2年生生担任　宮川千重

1年生生担任　和田美和／福担任　河野朝香

1年生コース

基礎Ⅱ実習を終えて

年明けから一年生はこれまで培つてしまだ解剖生理学、病理学などの知識を患者理解に活かす基礎Ⅱ実習に取り組み、緊張しながらも事前課題に誠実に取り組みました。雪かきによる実習の1週間延期どころ例の状況の中、実習のために施設先を確保する所必死の雪かきで車が出られないよりは努力した結果等、1年生ながら実習先で待つ患者への責任ある行動が見られ看護学生としての成長を感じました。

実習では、初めて一人で一人の患者を受け持つ、患者の症状を調べ、患者の身体の中で起きている「しび」が解り、毎日実践していく看護援助の根拠がわかる実習となりました。同じ症状でも、原因疾患やその日の患者状況によって看護内容を変更する必要があること等、学びは多彩です。また一步、看護の真髄に近づきました。

2年次早々の実習レポート発表では、血圧の成長を確信し、一人一人の学びを尊重し、看護師を指導する仲間同士が高めあいしひと期待してます。35期生は、この1年間、本当にまじめに諦めず努力し、看護学生として1年次に身につけてほしい勤勉性を身につけ、看護に向向き合つました。「物語じは誠実を胸に刻むこと」おやじいさん一年であり、35期生と共に過ごせた1年間は私たちの誇りです。来年度もこの愛くる誠実さを胸に成長してほしいと願っています。

着任

塙沢詩穂（准看護師）

着任

鈴木美緒（地域看護師）

着任

豊田裕子（事務）



退職

矢澤初美（事務）



教職員の異動



父母の会より

1月21日 国家試験勉強激励手作り豚汁、チョコレート、みかんを3年生に贈りました。

3月7日 卒業記念の図書カードを卒業生に贈呈しました。

第2回役員会：総会議案と次期役員体制を検討しました。3年生役員の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間御苦労様でした。

〔2014年度父母の会総会のお知らせ〕

2014年4月7日（月）12時30分 共立高看4階図書室

2013活動と会計の報告 2014年度活動計画と予算

2014年度予定

4/ 7（月）総会
5/ 18（土）雑草祭（豚汁作り）

7/ 25（金）2年生・3年生部会

11/ 15（金）1年生戴帽式

2015/3/ 7（金）卒業式



国家試験激励手作り豚汁（1/21）

◇共立高看 教職員活動報告◇

<1月> 共立高等看護学院自己評価・学校評価委員会（1/16）

<2月> 第26回山梨県民主医療機関連合会 学術・運動交流集会（2/15 *大雪により延期）

「臨地実習におけるインシデント・アクシデントの分析から—A 看護専門学校安全教育の課題」河西

「公開授業と授業リフレクションにおける実習指導者の学び—ベッドメーキングを見学した実習指導者のアンケート結果の分析」押領司

「看護学生が学んだリーダー看護師の役割」梶原

「専修学校のガバナンス改善に資する学校評価研修モデルの構築事業評価推進者研修」2/14(私立専門学校等評価研究機構) 水上

<3月>

「やって良かったと思える学校評価活動」研修会（3/18 日本看護学校協議会関東甲信越ブロック主催）雨宮 梶原 河西

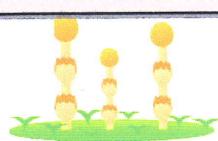
「共立高等看護学院実習指導者・教員学内研修会」

～編集後記～

大雪のため看護師国家試験会場（2月16日都内）に向かえという前代未聞の事態の中、多くの学生と担当教員は学校に泊まり、鉄道の復旧を待ちました。学校近隣の雪かきもできず地域の皆様のお力になれませんでした。3月の追加国家試験では全員が合格し、地域の命の守り手として巣立ちました。地域の皆様、学生御家族はじめ、支えていただきました皆様、ありがとうございました。健康のことでお困りの時は本校にも御相談下さい。震災3年目の3月11日には甲府市長さんの呼びかけに応え学生と教職員は黙祷しました。4月に39名の新入生を迎えます。

☆編集委員☆

雨宮久子・水上和貴
中込英利香・岩波美和



主な予定

4/4	始業
4/7	入学式
4/8	春のケース発表会(3年生)
4/24・25	グループダイナミクスセミナー（1年生）
5/9	球技大会
17	雑草祭（あらぐささい=学院祭）
19	3年生実習
6/1	創立記念日
6/4	労働体験（2年生 成人看護学）
9	2年生実習
6/18・19	前期中間試験（1年生）
7/7	1年生実習
19	キャンプ（保健体育）